

any

ars nova yamaguchi
「エニー」

summer 2015
Jul.-Sep.

93



1924



特集

特別企画展 「萩原朔太郎と中原中也」

萩原朔太郎と
中原中也の
共通項をさぐる



特集

03 萩原朔太郎と中原中也の共通項をさぐる

特別企画展
「萩原朔太郎と中原中也」

08 ピックアップイベント
この夏は、YCAMの外でも中でも映画ざんまい!

山口情報芸術センター
YCAM OPEN LAB
「Think Things—『もの』と『あそび』の生態系」
—あそびを共有し、さらに新しいあそびを創る場
マームとジプシー cocoon—憧れも、初戀も、爆撃も、死も。
—演劇界を震撼させた話題作がついに山口に!

中原中也記念館
中原中也の会
公開講演「中原中也と短歌—近代詩人と定型詩」
—詩人と短歌をテーマに講演

山口市民会館
Doris & Orega Paradise 「Walk oN!」
—新しい自分に出会う旅にでかけよう!

特撰 東西落語名人会 桂文珍・三遊亭圓楽 二人会
—東西を代表する名人が芸を競う落語会

12 any 通信

- ◎アーティストボイス 津田和俊 (ファブラボ北加賀屋／リサーチャー)
- ◎お先に試写しました さるすべり 「百日紅～Miss HOKUSAI～」
- ◎いらっしゃいませ チカバス
- ◎GOOD GOODS 中原中也記念館オリジナル 豆本
- ◎My Favorite 宮崎萌美 (中原中也記念館職員)

14 イベントカレンダー 7~9月
INFORMATION



中也 18歳頃(1925年撮影)

朔太郎 38歳頃(1924年撮影)

萩原朔太郎 *Hagiwara Sakutaro*
1886 (明治19)年前橋生まれ。旧制中学校在学中に短歌を作りはじめ、文学の道に入る。後に詩に転向し、1917 (大正6)年、第一詩集『月に吠える』を刊行。口語の緊張したリズムで、感情の奥底を鮮烈なイメージで表現し、後の詩壇に大きな影響を与える。さらに1923 (大正12)年出版の『青鶲』で、口語自由詩の確立者として不動の地位を得る。その後、「純情小曲集」『氷島』で漢語調の詩を発表し、再び詩壇に論争を巻き起こす。1942 (昭和17)年、肺炎のため死去。享年55歳。

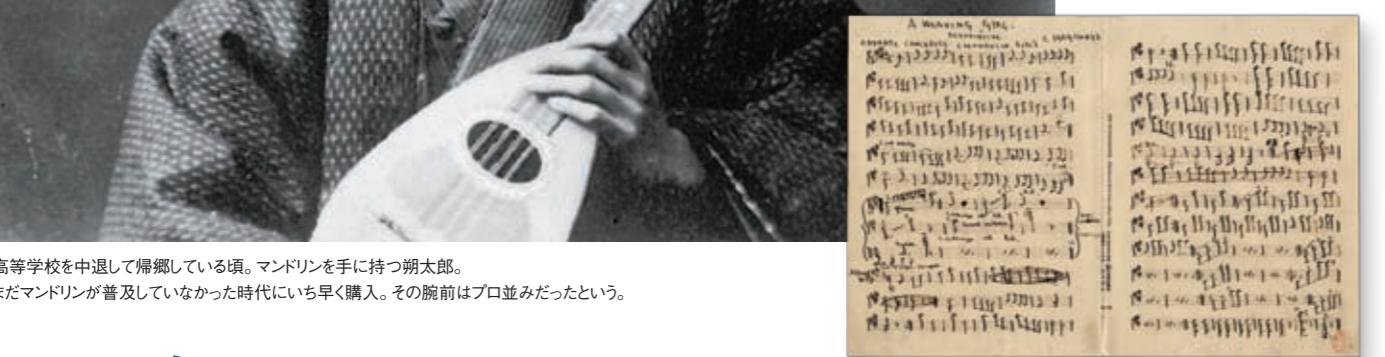
P3~7の萩原朔太郎肖像写真ならびに朔太郎関連資料の写真については、すべて前橋文学館より提供



中也にとって大先輩の詩人 21歳年が離れた朔太郎は、

高等学校を中退して帰郷している頃。マンドリンを手に持つ朔太郎。

まだマンドリンが普及していなかった時代にいち早く購入。その腕前はプロ並みだったという。



まずは今回特集で取り上げられる萩原朔太郎はどういった人物なのか、教えてください。

萩原朔太郎は明治19年に群馬県前橋で生まれました。大正6年に刊行した第一詩集『月に吠える』で“口語自由詩”というスタイルを確立したことにより、近代詩の新たな時代を切り拓いた、文学史のなかではよく知られた詩人です。中也とは21歳年が離れているので、中也が詩人を志した頃にはすでに詩人の大先輩であり、詩壇でその名を知られた人物でした。

業績としては詩以外にも、文芸評論やアフォリズム(警句、箴言)やエッセイ集も出していました。

とくにエッセイは様々な雑誌に寄稿していました。詩人の面以外でも顔や名前が知られていました。

朔太郎は、すごく多彩な才能をもっていと聞きますが？

そうですね。その一つに音楽があげられます。詩人を志す前は音楽家になりたかったようで、東京・銀座の十字屋という楽器店で当時3台しか輸入されていな

かったマンドリンを1台買っています。東京遊学時代にマンドリンの第一人者からかなり本格的に学び、前橋に帰ってきたときには「ゴンドラ洋楽会」というマンドリン楽団を結成。ほかにギターも弾いていました。音楽に関する強いこだわりを持っていた人で、音楽的な素養は彼の詩にも結びついています。

写真も中学時代からの趣味で、哀愁漂う独特的の写真を撮っています。特殊な写真機で撮影した立体写真(ステレオスコープ)という装置を通して見ると立体的に見える写真)も遺っていて、こちらは展示で、実際にお客様に覗いてみてもらえるよう

にしたいと思っています。

また50代になってから「アマチュア・マジシャン・クラブ」という手品クラブにも入会しています。おもしろいエピソードとして、遺品のなかに「手をふれるべからず」と書かれた紙があり、家族がきっと書きかけの原稿だと思って見てみたら、手品のタネ明かしが書かれていたそうです(笑)。このほか、自分の著作の装幀も手がけるなど、美にこだわりがある人。若い頃は自分の書斎の改装に熱中し、家具まで

デザインしたこと。また晩年、世田谷に家を建てますが、自分で設計もしています。多趣味でありかつ造形的なセンスの高い人でした。

また朔太郎の魅力の一つがこの端整な顔出しだす。個人的には朔太郎の肖像を集めた写真コーナーも作りたいですね(笑)。

当時、中也と朔太郎の間にはどのくらいの交流があったのでしょうか？

実際に2人が会ったと確認できるのが、朔太郎の著書『絶望の逃走』出版記念会、詩人・伊東静雄の詩集『わがひとに与ふる哀歌』出版記念会、また2人が参加していた雑誌「四季」の集まりである「四季の会」の3回のみ。朔太郎は中也が亡くなつたときの追悼文のなかで「個人としては極めて浅い知合だつた」と書いていることからも、特に親しい友人という関係ではなかったようです。ただ、今回調査をしていくうちに、いくつかの中也と朔太郎の接点が、資料を通してみえてきました。

まず、朔太郎自筆の住所録を確認したところ、そこに中也の名前を見つけました。これは『冰島』の贈呈用に記されたものである可能性が高く、実際に贈呈されたのかどうかは不明ですが、交流があったことが分かります。

また、昭和12年に前橋で朔太郎の歓迎会が開かれたことがあり、朔太郎は詩人仲間を連れて帰郷するのですが、中也もそのメンバーの一人に挙がっていたことが、朔太郎の手紙から分かりました。その頃中也は神經衰弱で入院していたので、実際は行けなかったのですが、朔太郎が中也のことを気にしていたことが窺えます。それから、中也は晩年の日記に、朔太郎から著書『無からの抗争』の寄贈を受け、その作品について短い文章を書き、朔太郎の本の広告に推薦文として掲載されています。これが唯一、中也が朔太郎について論じたものです。その同じ頃に中也は、生前最後に刊行した翻訳書『ランボオ詩集』を朔太郎宛に送っていたことが分かりました。その貴重な朔太郎宛ての献呈本を今回展示します。



中也の亡くなる直前にはそのような付き合いが増えているようです。中也がもし長生きしていたら、2人の関係はもっと深い付き合いになっていたのではないか、そんなことを資料を調べながら想像しました。

生まれた境遇も、
好きなものも似ていた
朔太郎と中也

中也と朔太郎、2人に共通する部分はありますか？

生まれも似たような境遇にあり、どちらも医者の裕福な家庭に生まれた長男。2人とも文学にはまって学校を落第し、定職に就かないなど、親の期待に背いてしまう。偶然かもしれませんのが、共通する部分が多くあります。

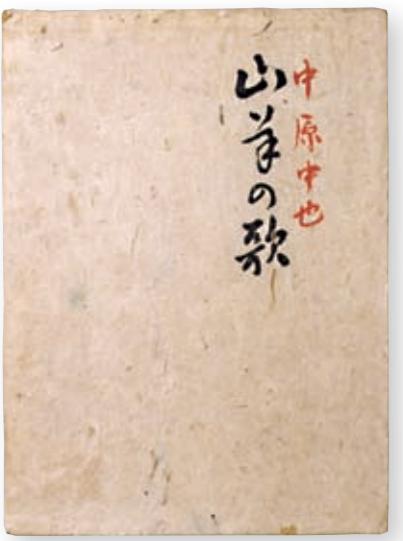
中也は朔太郎について、「一見突懸貪に見えるけれど、実は寧ろ氣が弱い迄に見解の博い人である。然るに氏のエッセイはとみると、時にダダツ子みたいに感じられる時がある。蓋し淫酒のせゐである。而してその淫酒は、氏の詩人としての孤独のせゐである。」と書いていて、まるで中也自身のことを言っているようにも思えます。また朔太郎も、中也に会ったときの思い出

として、中也から当時神經衰弱を患っているという話を聞き、朔太郎も同じような症状に悩まされていたため、「大に同情して慰め合つた」と中也の追悼文に書いています。



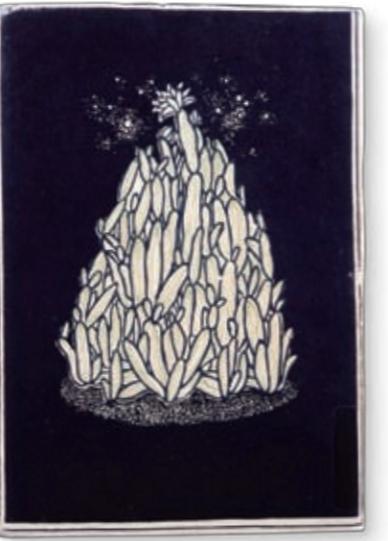
中也が最晩年の1937(昭和12)年に使用していた日記帳「ボン・マルシェ日記」。朔太郎から著書『無からの抗争』が贈られ、礼状を書いたことや、『無からの抗争』についての小論を書いたことが記されている。

2人の関係は
もつと深い付き合いになっていたかもしない



中也の第一詩集『山羊の歌』、1934(昭和9)年刊行。
朔太郎によれば、中也はこの詩集を朔太郎に贈呈している。

作品としては
2人はまったく違つた
個性や感性を
もつていた



朔太郎の第一詩集『月に吠える』、1917(大正6)年刊行。
口語自由詩のスタイルを確立する。当時、危うく発禁処分を受けそうになるなど、新しい表現の作品として脚光を浴びる。

お互いに通じあう部分があったのでしょうか？

朔太郎は、もともと人間は孤独なのだという思いを強く抱いていて、それが作品にも表れています。中也も“孤独”というものをいつもどこか抱えていて、そういう共感できる部分を、少し話をただけでも感

じるところがあったのかもしれません。また2人は好きなものが似ています。音楽が好きなのもそう。音楽が作品に重要な役割を果たしていて、言葉のリズムをかなり重視していたという点も2人に共通していました。実際に朔太郎は中也の詩にある歌の要素や音楽的な部分を評価していました。2人は散歩も好きでした。中也は夜まで街を歩き続け、帰ってから詩を書くという生活をしていましたし、朔太郎もまた色々な場所をぶらぶらと歩くことが好きだったようで、そういった歩行と詩が結びついているところも似ていますね。

逆に2人の違いもみえてきましたか？

例えば故郷をモチーフにした詩をみると、その描写に違いがみられます。朔太郎は名家の長男なのに跡を継がずに詩人となつたことで、郷里の人には白い目で見られていたという意識が強く、故郷を舞台にした「公園の椅子」という詩では、「さびしき椅子に『復讐』の文字を刻みたり。」といった怖い言葉が出てくるなど、故郷を厳しい場所として表現しています。この他にも、

朔太郎には故郷に対する愛憎が複雑に渦巻いている詩が多くあります。中也も似たような境遇ではあったので、周囲の人との軋轢もあったでしょうし、故郷に対しては複雑な思いを抱いていたと思われます。詩に表現されているところでは、朔太郎のような目立った憎しみの表現はありません。中也が故郷をうたった代表的な詩「帰郷」では、「これが私の故里だ／さやかに風も吹いてゐる」とあり、どちらかといえば肯定的なイメージで描かれています。風土の面でも、山口は低くて丸い山が多く、ほっとするような風景ですが、北関東の山々は高くそびえていて威厳がある。そういった育った自然環境の違いも、表現される故郷の描写に影響を与えたかもしれません。

作品の面では2人はどう違いますか？

もちろん、詩人としての感性はまったく違います。展示では、2人の作品で同じテーマを扱っている詩を比較するようなコーナーも考えています。たとえば、「蝶」をモチーフにした詩が朔太郎の作品の中に

多くありますが、その捉え方は中也とまったく違います。中也の詩では「一つのメルヘン」という作品に蝶が出てきますが、ここでは現実のものと思えない幻想的な存在として描かれていて、どちらかというと無機的なイメージです。一方、朔太郎の場合は蝶が飛ぶ様子を「重たいおほきな羽をばたばたして」(「月夜」)と表現し、生き物として描いています。作品としてはまったく違った個性や感性をもっていた2人なんだということが、比較することでみえてきます。ほかに、中也は「ゆあーん ゆよーん ゆや ゆよん」といったオノマトペ(擬音語／擬態語)を使っていますが、朔太郎の作品にも、たとえば「鶴」という詩の中の「とてくう、とをるもう、とをるもう」という鳴き声など、「何これ？」とびっくりするような言葉が出てきます。独特の感性をもち、音に強いこだわりをもっていたのは中也と同じですが、やはり表現は違っています。

**ただの先輩・後輩という
関係ではなく、実はお互い
もっと近づきたいという想いが
あったんじゃないかな**

具体的にはどのような展示になるのでしょうか？ また展示からみえてくることは何でしょうか？

まずは2人の生い立ちの共通する部分や、



朔太郎が自ら装幀を手がけた詩集『氷島』(1934年、第一書房)と『定本青猫』(1936年、版画社)。



特別企画展 「萩原朔太郎と中原中也」

2015年7月30日(木)～9月27日(日)

9:00～18:00(入館は17:30まで)

会場：中原中也記念館

[入館料] ()内は20人以上の団体料金

一般 320円(270円) 大学生 210円(162円)

70歳以上・18歳以下無料

[協力] 水と緑と詩のまち 前橋文学館



※今秋、前橋文学館でも
企画展「中原中也と萩原朔太郎」が開催されます。
(会期：10月17日～11月29日)

P R E S E N T

特別企画展のパンフレット
並びに『萩原朔太郎詩集』を
プレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、7月31日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

**A 特別企画展
「萩原朔太郎と中原中也」
パンフレット(3名)**

B 「萩原朔太郎詩集」(1名)

代表作「月に吠える」「青猫」など創作年次順に編まれ、朔太郎の詩人としての軌跡と特質をあますごろなくつたえる1冊。岩波文庫、1981年刊。

**中也と朔太郎の
作品世界がからくり劇場で
味わえる特別展示**

からくり劇場：「アトラスの回想」「猫町」

美術家ムットーニ(武藤政彦)さんによる中也の詩「地極の天使」をモチーフにした新作のからくり劇場「アトラスの回想」が中也記念館との出会いにより誕生!! 朔太郎の小説「猫町」をモチーフにした作品とあわせて展示・上演されます。ムットーニさん來館時はご本人による生口上の上演もあります。

ムットーニ制作、からくり人形劇「アトラスの回想」
写真提供:武藤政彦

【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7
(公財)山口市文化振興財団

「any vol.93 特集プレゼント」係

FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcpc.or.jp

*当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



1917(大正6)年頃撮影。
第一詩集『月に吠える』を刊行した頃の朔太郎。

レミ
聴観
ビンいた
ユなた！
の！

◎とても興味深いミーティングだった。やはり農業をしている方の割合が多いと重みがある。(50代女性 「アグリ・バイオ・キッチン キックオフイベント」より)

◎素晴らしい歌声とメッセージに元気をもらいました。今夜は感動で胸がいっぱいです。(70代以上女性 「May J. Spring Tour 2015」より)

◎神は細部に宿る…というよりも「細部に渡り神おわす」といつも思っています。(40代女性 下瀬信雄写真展「さやかに風も」より)

◎羽毛で包まれたような柔らかな音色で始まり、高音へと昇華していく僕の深い演奏、さすがお見事。(40代男性 「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2015」より)



この夏は、 YCAMPの外でも中でも 映画ざんまい!

恒例となったお盆時期の「真夏の夜の星空上映会」。今年も楽しい作品がそろっています。
さらに8月末には、映画を大音響で鑑賞する「YCAMP爆音映画祭」も開催。
野外の開放的な雰囲気で観る映画もよし、閉じた空間の中、爆音で体感する映画もよし。
今年の夏は、映画にどっぷりはまってみよう!!

夏祭りのような
にぎわいとともに
映画を楽しむ!

真夏の夜の星空上映会

2015年8月14日(金)～16日(日) 各日19:30頃～
[会場] 中央公園 [料金] 無料 ※すべてデジタル上映

上 映 作 品	
	8月14日(金) 「かしどり 『鶯鶯歌合戦』」 (1939年／日本／69分／モノクロ) ©日活
	8月15日(土) 「レゴ・ムービー」※日本語吹替版 (2014年／アメリカ／100分／カラー) ©2014 Warner Bros. Entertainment Inc. LEGO, the LEGO logo and the minifigure are trademarks and/or copyrights of The LEGO Group. © 2014 The LEGO Group. All rights reserved.

上 映 作 品	
	8月16日(日) 「キッズ・リターン」 (1996年／日本／108分／カラー) ©1996 パンダビジュアル／オフィス北野



PICK UP EVENT! SUMMER 2015
ピックアップイベント

山口情報芸術センター(YCAM)

<http://www.ycam.jp/>

YCAMP OPEN LAB

「Think Things—『もの』と『遊び』の生態系」 エコシステム

2015年7月18日(土)～9月27日(日) 10:00～18:00 ※7月18日のみ13:00～オープン

会場:スタジオB、ホワイエ、2Fギャラリー

遊びを共有し、さらに新しい遊びを創る場



YCAMPのこれまでの活動をオープンにして、体感してもらう機会を提供していくプロジェクト
YCAMPオープンラボが今年から始動。このプロジェクトのスタートにあわせて、子どもたちの夏休み期間に行うのが“Think Things”です。

YCAMPではこれまでコロガル公園、コロガルパビリオンといった、スピーカーや照明などのメディアを使った仕掛けから、子どもたちが新しい遊び方のルールを発見することのできる「遊び場」を提案してきました。

料金 | 無料

関連企画

遊びハッカソン

“Think Things”で提供されるツールや環境について、使用者の目標からアップデート案をプレゼンテーションすることができます。

2015年8月2日(日)、30日(日)

各日14:00～17:00

[講師] YCAM 教育普及スタッフ、YCAMP InterLabスタッフ

[料金] 無料(要申込、先着順) [定員] 小学生以上各回10名

|わたしはココに注目する!

mini PICK UP!

Yamaguchi Mini Maker Faire 2015

2015年9月19日(土)

12:00～18:00／

20日(日) 10:00～18:00

会場:山口情報芸術センター

スタジオA ほか



参考写真:[Yamaguchi Mini Maker Faire] 開催の様子(2013年)

ものづくりの世界規模の祭典Maker Faire(メイカー・フェア)。2006年にO'Reilly Media(オライリー・メディア／現・Maker Media)によってアメリカでスタートした、DIYに携わる個人や組織の発表と交流の場として、これまで日本を含む世界60ヶ所以上で開催されてきました。山口情報芸術センターでは、その山口版として、「Yamaguchi Mini Maker Faire」を2013年に初開催。好評を博しました。今回は2年ぶりに復活し、山口市内からはもちろん、全国各地から集まった100以上の個人・団体・企業・店舗などがYCAMPに集結します。ものづくりの現在(いま)を体感しにぜひYCAMPへ!

イベントレポート

cocoiku
コロガルガーデン
for LIL KIDS
小さな子どもたちが
創造性を育むあそび場



YCAMPが新しいあそび場として開発し、2012年から展開してきた「コロガル公園シリーズ」。2014年の札幌に続き、今年は4月29日から東京の伊勢丹新宿本店に出現。ゴールデンウィーク中ということもあり、会期中大勢の子どもたちや、家族連れが来場しました。大盛況のなか5月3日に無事終了。メディアテクノロジーと身体を結びつけた先に生まれる新しい「あそび」の可能性に触れていただく機会となつたのではないか。さて、次に「コロガル公園」はどこへ転がっていくのか? 今後の展開にご期待ください。

マームとジプシー

cocoon—憧れも、初戀も、爆撃も、死も。

2015年8月8日(土)・9日(日) 両日14:00開演

会場:スタジオA

演劇界を震撼させた話題作がついに山口に!



人気漫画家・今日マチ子が、沖縄戦に動員された少女たちから想を得て描いた傑作『cocoon』。マームとジプシーによって2013年に上演されたその舞台版は、演劇界を震撼させ、大きな反響を呼びました。

終戦70年を迎える今年夏、舞台版「cocoon」は再び創造され、日本を巡り山口にも登場します。多くの音楽ファンをとりこにしている原田郁子の音楽

|わたしはココに注目する!

関連企画

藤田貴大 演劇ワークショップ

2015年8月6日(木) 14:00～18:00 会場:楽屋

[参加費] 500円

[定員] 中学生以上20名(要申込、先着順)

*申込方法等詳細はお問い合わせください。

演劇
未経験者
大歓迎!

今日マチ子『cocoon』原画展

2015年8月6日(木)～9日(日)

*8/8(土)、9(日)は公演チケットをお持ちの方のみ

会場:スタジオAロビー [料金] 無料

チケット情報 | 発売中

料金 全席指定(枚数席は当日指定) 前売 一般 3,000円 any会員・特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円
当日 3,500円

[原作] 今日マチ子『cocoon』(秋田書店) [作・演出] 藤田貴大(マームとジプシー) [音楽] 原田郁子

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。

■特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。

■いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



これで
あなたも中也通?!



短歌雑誌「日本歌人」(昭和10年7月号)

Q 9月12日開催の中原中也の会大会・公開講演のテーマにちなみ、中也と短歌について問題です。中也是短歌から離れ、もっぱら詩が創作の中心になりますが、1935年、短歌雑誌「日本歌人」(昭和10年7月号)の歌壇外に聴く!というアンケートに答えていました。その回答の中で、中也是ある歌人の名前を具体的に挙げ、「面白い」と評価しています。さて、それは一体誰でしょうか?

1 若山牧水

2 斎藤茂吉

3 北原白秋

答えは14ページ

中原中也記念館

<http://www.chuyakan.jp/>

中原中也の会共催

公開講演「中原中也と短歌—近代詩人と定型詩」

2015年9月12日(土) 13:30~

会場:ユウベルホテル松政

「詩人と短歌」をテーマに講演

中原中也記念館では、中原中也の会との共催により公開講演を行います。今回のテーマは「詩人と短歌」。講師は、『草かんむりの訪問者』で歌壇賞を受賞し、小説家としても活躍する歌人の東直子。

日本の近代詩人の多くは、文学の出発点に短歌がありました。中也も12歳で短歌を作りはじめ、15歳で中学校の先輩らと合同歌集『末黒野』を刊行しますが、次第に創作の中心は詩へと移っていきます。詩人にとって短歌とはいっていい何なのか? 詩との関係に迫ります。

当日は、本講演のほか、中原中也の会主催によるシンポジウムも行われます。こちらもあわせてお楽しみください。

わたしはココに注目する!

今回は、中也に限らず、広く詩人と短歌の関係について取り上げられる予定です。詩だけでなく、短歌がお好きな方もぜひお越しください。

料金 500円



2014年の公開講演の様子

イベントレポート

トークイベント

「中原中也記念館の今まで、そして明日から」

昨年20周年を迎えた中原中也記念館。記念イベントが数多く催され、多くの方にご参加いただきました。そんなメモリアルイヤーの締めくくりとして、3月28日にトークイベント「中原中也記念館の今まで、そして明日から」が、中原中也記念館の企画展示室を会場に開催されました。イベントのコンセプトはやはり「百合子の部屋」! 当館の福田百合子名誉館長が、某長寿テレビ番組ながら、中原豊館長を迎えて、記念館のこれまでとこれからについて、リラックスした雰囲気のなかで語り合いましょう! というもの。

2人の20年前の写真をバックに、開館当初の苦労話から、記念館ができて変わったこと、そして、これからどのような活動を行っていくか、などなど、少々おしゃらけた話からまじめな話まで、さまざまな話題が出されました。また、話の合間に、2人の朗読や中原館長のギター弾き語りも披露され、入り立ち見まででた会場は大いに盛り上がりいました。



トークイベントの様子

レミ 聽観
ぴんいた
うなた!
の!

◎May J.さんがダンスをするなんて思っていませんでした。すごくカッコよかったです。(30代女性 「May J. Spring Tour 2015」より)

◎チャイコフスキーセレクションはおもしろい企画だと思いました。(50代男性 「東京都交響楽団 特別演奏会」より)

◎郁子さんの声も、青柳さんの声も、耳心地の良い音の渦でした。(30代女性 「原田郁子×マームとジブシー リーディングライブ」より)

◎南部地区的農家の方に参加してもらおうなど、ミーティングのエリアを広げてみて欲しい。(アグリ・バイオ・キッチン キックオフイベント)より)

ピックアップイベント

山口市民会館

<http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/>

Doris & Orega Paradise 「Walk oN!」

2015年7月3日(金) 19:00開演

会場:大ホール

新しい自分に出会う旅にでかけよう!

ドリス&オレガ企画の顔として着実に全国各地に根を下ろし続けている西村雅彦演出の新作舞台「Walk oN!」が今夏、山口で上演。笑いと感動を届けてくれます。

夢ばかり追い続け必死に生きてきた男。夢など忘れ達成感のない日々を過ごす青年。そんな2人が出会い、小さな旅を始めます。行く先々で出会う不思議な人々。男の妻と娘、そして彼らをとりまく様々な人たち。いくつになっても選択次第で人生は大きく変わる。新しいチャレンジに一步踏み出してみると、素敵なお未来が待っているはず…。この作品が、あなたにとっても、新しい自分に出会う旅となるかもしれません。

演技派俳優がそろい、また鈴木杏樹にとっては初舞台となる本作に、ぜひご期待ください。



わたしはココに注目する!

西村雅彦さんのお芝居にはいつも笑いがあり、感動があります。今回もこれまで同様、西村流の笑いがつまった作品。たくさん笑って、涙流して、楽しんで、幸せな気持ちをお持ち帰りください。

チケット情報

料金 全席指定 前売 S席 一般 4,800円

A席 一般 3,500円 / 25歳以下2,000円

※any会員は一般料金より各500円引(1会員4枚まで)

当日 S席 5,300円 A席 4,000円

[出演] 西村雅彦、石井智也、古原靖久、上地春奈、加瀬竜彦、川口真五、北嶋テツヤ、竹匠、中山夢歩、深来マサル、鈴木杏樹

先行チケット
発売情報
any会員
先行予約
早チケ
8月29日

小曾根真
with エリック宮城
クリスマスコンサート

2015年12月9日(水)
18:30開演
会場:山口市民会館 大ホール

この冬、日本を代表するジャズミュージシャンが山口に集結。多方面で活躍し、いま最も忙しいジャズ・ピアニスト 小曾根真と、スティーブ・トランペッター・エリック宮城をはじめトップ・ミュージシャンたちが豪華なステージパフォーマンスを披露。クリスマスにふさわしいスペシャルな時間をお届けします。

[チケット情報]
any会員先行予約 8月29日(土)～
一般発売 9月12日(土)～
[料金] 全席指定
前売 一般 4,500円(予定)
※any会員は500円引

先行チケット
発売情報
any会員
先行予約
早チケ
9月12日

山口きずな音楽祭 vol.7

2015年12月26日(土)

16:00開演

会場:山口市民会館 大ホール

室町時代、大内義隆がフランシスコ=サビエルの願いを受け入れ、山口の地で降誕祭が行われたのが1552年12月9日。それが日本でクリスマスが祝われた最初の日だと記録されています。この山口のクリスマスの歴史を、音楽を通じて次世代に伝えようが始まった「山口きずな音楽祭」。7回目の今年は、昨年に引き続き人気ボーカルグループ“LE VELVETS”が登場。彼らの力強い歌声が、山口のクリスマスを盛り上げます。

[チケット情報]
any会員先行予約 9月12日(土)～
一般発売 9月19日(土)～
[料金] 全席指定
前売 一般 S席 5,000円
A席 4,000円
※any会員は各500円引



わたしはココに注目する!

話術にたけた2人のテレビやラジオでの軽快なトークは聴いたことがあって、生の落語はあまり聞いたことがない、という人も多いのですが、「さすが!」と思わせる2人の話芸の粹をこの機会にたっぷりとお楽しみください。

チケット情報

any会員先行予約 7月4日(土)～

一般発売 7月18日(土)～

料金 全席指定 前売 一般 4,200円 any会員 3,800円(1会員4枚まで)

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。

■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。

■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

any通信

歴代の受賞詩人が集まりました!



現代詩の登竜門とされる中原中也賞。その第20回の贈呈式が中也の誕生日である4月29日に行われ、受賞詩集『グラフィティ』の作者で京都在住の岡本啓さんに賞状などが贈られました。また今年は20回目となることから、これまでの受賞者たちによる記念シンポジウムが行われ、12人の詩人たちが一同に顔をそろえました。第1回から選考委員を務める詩人・佐々木幹郎氏の司会で和やかに進行しました。

行。「この賞があったから詩人であることに誇りがもてた」と口々に語る受賞者たちの言葉から、改めて中原中也賞の意義を感じる場となりました。



記念シンポジウムの様子

食と農×メディアテクノロジーの新プロジェクトがキックオフ!

YCAMでは今年度から、〈食〉や〈農〉と〈メディアテクノロジー〉との新たな関係性を追求する新しい研究開発プロジェクト「アグリ・バイオ・キッチン」がスタートします。そのキックオフイベントとして、5月2日に公開ミーティングが行われました。同時にYCAM館内には地元の獲れたて野菜や木工品を販売するマ

ルシェが登場。また生地をのばし具材を包んで焼く、おやき作りのワークショップを行ったYAMA KITCHENも大盛況。みなさん興味津々な様子でのぞかれ、参加された方は楽しんで帰っていました。今後は年間で3回程度のレクチャーと勉強会を開催しながら、さまざまなコラボレーターとともに研究開発を行っていきます。ぜひ今後の活動もチェックしてご参加を!



YCAMマルシェの様子

ARTIST VOICE アーティスト ボイス

津田和俊
(フ ラボ
・リサーチャー)

地域のもつ魅力や課題をリサーチし、その土地に根差しながら新しい発想でのづくりを提案されている津田和俊さん。昨年度はYCAMで行った「地域に潜るアジア」展、そして今年度から新しく始動するプロジェクトのコラボレーターとして度々山口に来ていただいている。そんな津田さんにYCAMや活動に対する今の気持ちをお聞きしました。

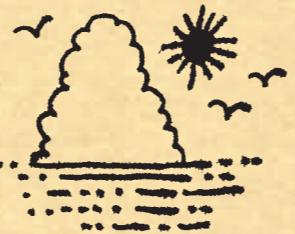
居るだけで好奇心が湧いてくる場所です。



山口のことでもYCAMのこと、まだまだ知らないことが多いですが、なんだか懐かしく居心地よく、他方では毎回いい刺激を受けて、居るだけで好奇心が湧いてくる場所です。アートセンターであるYCAMで特筆すべきものにラボラトリーの機能(および

ライブラリーの併設)があります。このことは好奇心のおもむくままに共同で研究開発に取り組んでいけるということに加えて、培った技術を必要に応じて引き出せるように手近に蓄えておくということを可能にするでしょう。今年度から数年かけて、暮らしに必要な不可欠な〈衣食住〉を対象に、メディアアートを中心とする技術をどう関連づけることができるか試行錯誤するプログラムが始まっています。この地域開発の取り組みを通じて、身近にある価値をあらためて問い合わせよう、「智慧をそなえた科学」と呼ぶにもふさわしい何か[any] thingをつづっていくことができたら、とコラボレーターとしては考えています。

津田和俊 TSUDA Kazutoshi
1981年、岡山 新村生まれ。現在、大 学院大学創 工学センター
。2010年からファブラボのネットワークに参加し、13年春、
その 点の一つとしてファブラボ北加賀屋(大 市)を開設。
もの流れや 人に自しながら、自 人ととの関係性について考 している。共著に「FABに何が可能か」など。



照り返す日差しが
まぶしくなってきました。
今年の夏も
また暑くなりそうです。



©2014-2015 杉浦日向子・MS.HS/「百日紅」製作委員会

し試お
ま写先
に

いらしゃいませ



タイまぜチャーハン

800円

※ほうじ茶500円

おいしい料理で会話がはずむ人気店

山口の人気カフェFRANKが新店舗をオープンさせたというので、さっそくリサーチに! 定番メニューの「タイまぜチャーハン」を注文。お皿にはカビ(小エビを使ったタイの調味料)やナンブラーで炒めたご飯、上には半熟の目玉焼き、周りに色鮮やかな野菜やチキンなどの具材たち。なるほど、これを全部まぜちゃえばいいのね。しっかり混ぜ混ぜして、いざ実食! おお、野菜のシャキシャキ感、アーモンドのコリコリ感、色んな食感が口のなかで融合。そこにナンブラーなど魚介の風味もアクセントになつて、一度食べたらやみつきになる絶品の味!! おいしい料理と居心地のいい空間、ここチカバスは今日もたくさんのお客さんでにぎわっています。

チカバス

山口市湯田温泉6-3-11 TEL.083-941-6909
営業期間:11:30~14:30、18:00~25:00
休業日:日曜

GOOD GOODS



中原中也記念館オリジナル
豆本

中也の世界が小さな豆本で味わえる!

小さなミニミニサイズの中也の豆本がグッズとして登場! ちゃんと文字も読めて、しっかりと中也の詩の世界が味わえます。この豆本、なんと、ガチャガチャの商品として、現在中原中也記念館で販売中です。中也の第1詩集『山羊の歌』、第2詩集『在りし日の歌』など全部で5種類準備されています。もちろんガチャガチャなので何が出てくるかは、カプセルを開けるときまでのお楽しみ! 中原中也記念館の玄関に入ったすぐのところに2台のガチャガチャ機が用意してあり、もう1台も中也のグッズが入っています。中原中也記念館を訪れた記念にもぜひどうぞ。

価格:1回200円

My Favorite

事務室の足元の窓から見える地面と竹垣。小さな花やきのこが生えたり、竹垣にはつたが這っていていい雰囲気。この細い通路を、猫たちが日に何度もパトロールしています。みどりと光と、時には雨も、季節を感じることができる小さな場所です。

宮崎萌美 (中原中也記念館職員)



宮崎萌美

EVENT CALENDAR 2015.7-9

イベントカレンダー 7~9月

7
July

山口情報芸術センター
(YCAM)
<http://www.ycam.jp/>

■シネマ
毎週金曜日の夜に【金曜夜のYCAMシネクラブ】を開催しています(※8/14, 28お休み)。上映作品は、webや『YCAMシネマプログラム』をご覧ください。

山口市民会館
<http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/>

中原中也記念館
<http://www.chuyakan.jp/>

8
August

18
YCAM OPEN LAB
「Think Things—『もの』と『あそび』の生態系」(本誌P9参照)

4 5
Select CINE TECTONICS #21
「B級映画の帝王:エドガー・G・ウルマー」
※7/4開連トーカーあり

11 12
19 20
25 26
シュヴァンクマイエル映画祭2015

マームとジブシー
cocoon—憧れも、初恋も、爆撃も、死も。
(本誌P9参照)

1 2
作 品 未 定

8 9

14 16
真夏の夜の星空上映会
(本誌P8参照)

14 15

22 23
作品未定
YCAM爆音映画祭2015
(本誌P8参照)

28 30

9
September

※掲載内容は2015年6月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

19 20
Yamaguchi Mini Maker Faire 2015
(本誌P9参照)

12 13
作品未定

21 23
ささやべり
「百日紅～Miss HOKUSAI～」
(本誌P13参照)

26 27
26 27
「百日紅～Miss HOKUSAI～」
(本誌P13参照)

27

~2016/2/21

開催中
第12回テーマ展示「中也 祈りの詩」

開催中
企画展I「中原中也賞の20年」

26
※7/27~9/29は特別企画展開催中のためお休み

30
特別企画展「萩原朔太郎と中原中也」
(本誌P3~7参照)

24
中原中也を読む会

3
優秀映画鑑賞推進事業
「市川雷蔵と中村錦之助」

3
6

28
中原中也を読む会
中原中也の会共催
公開講演
(本誌P10参照)

12
中原中也の会共催
公開講演
(本誌P10参照)

企画展II
「中也の住んだ町—新宿」
30 ~4/17

25
中原中也を読む会
会場:山口情報芸術センター

[マーク説明] [手マーク] 体験する [手マーク] 参加する [音マーク] 聴く [目マーク] 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット

山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)
<http://www.ycfcp.or.jp/>



※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレガイド発売日の10:00より受付開始。

電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。
チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。
お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では
託児サービスを行っています。
※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。
お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、

2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケット
インフォメーションまたは山口情報芸術センターに
てお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。
事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにて
お申し込みください。満員の際は順番制となります。

any会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

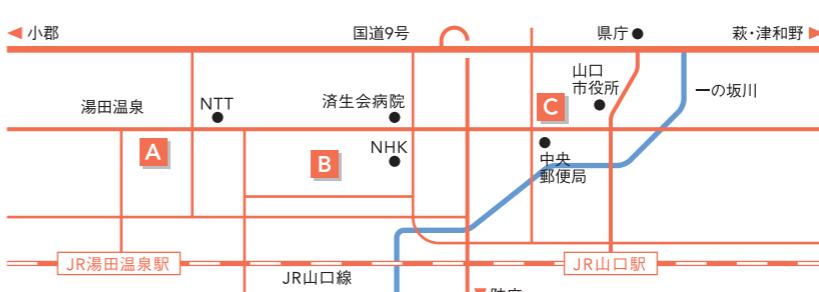
any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演
や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。
公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、
情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど

情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



山口市文化振興財団 〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcpc.or.jp

編集後記

最近野球観戦が楽しみの一つに。広島東洋カープの本拠地、マツダスタジアムでの観戦に大興奮!! にわかカープファンとなって必死に選手たちに声援をおくるも、応援のリズムがまわりとあわざぎちなくはあります…。[M.D.]

マテ貝振りに干潟へ。浜辺の小さな穴に塩を振りかけると…貝が飛び出します! つかむのに勇気がいるビジュアルです。海を見ながら裸足で砂浜を歩いていると、舞台「cocoon」と沖縄を思い出しました。[T.I.]

A 中原中也記念館

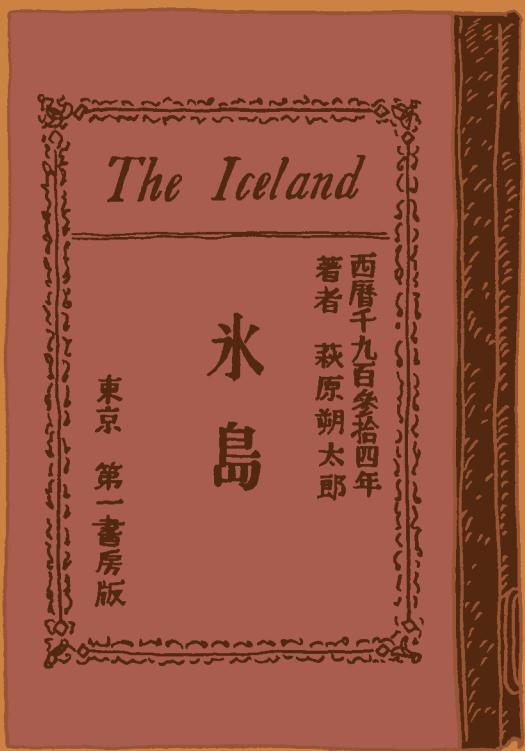
〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@cable.ne.jp

B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@cable.ne.jp



人財團文化振興益公
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

A WEAVING GIRL.

DESCRIPTIVE.

ANDANTE CANTABILE. (MANDOLIN Solo) S. HAGIWARA

A WEAVING GIRL.
DESCRIPTIVE.
ANDANTE CANTABILE. (MANDOLIN Solo) S. HAGIWARA

CON MOTTO.
grace.
trepida.
pizz. 1st finger snapped.
Allegro
Coda 1st ab. 2nd
Coda 2nd ab.
Rall.

